

大規模施業モデル団地の形成

～モデル団地設定の取組みと今後の展開について～

1 テーマの趣旨・目的

当センター管内は、富山県の中心に位置し、富山市、立山町、上市町の1市2町から構成されている。管内の森林は、海拔0mから森林限界を超える3,000mの山岳地帯までと大きな標高差を有しており、多種多様な動植物が生息・生育する豊かな森林となっている。

一方、岐阜県を源流とする神通川や、暴れ川として名高い常願寺川等、管内は急峻な地形が多く、人工林資源は充実していても事業地が小規模な箇所が多かったことから、生産費が増大するとともに、素材生産量が低迷していた。

この課題を解決するため、令和2年度より大規模集約化モデル団地の設定に取り組み、富山市小原地区において、全体計画の作成から事業着手まで進めたほか、小原地区で培ったノウハウを活かして、他地区への波及に取り組んだので、その事例について発表する。

2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

(1) 現状及びこれまでの取組内容

(ア) 富山市小原地区の取組み（立山山麓森林組合）

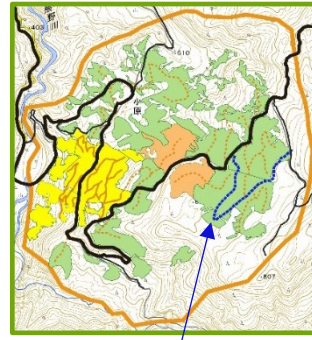
令和2年度にモデル団地の設定を行った小原地区において、集約化、森林経営計画策定、非5条森林の森林編入等を支援した。



令和6年度 間伐、森林作業道開設状況

令和5年度より事業着手し、令和6年度までに

間伐21ha、森林作業道開設2,770mを実施したほか、令和7年度からは林業専用道（規格相当）が着工されるなど、計画的に整備を進めている



R7 実施林業専用道(規格相当)

令和2年度モデル団地設定
「小原地区における整備の計画」

(イ) 他地域への波及の取組み（立山山麓森林組合）

①波及地区の設定

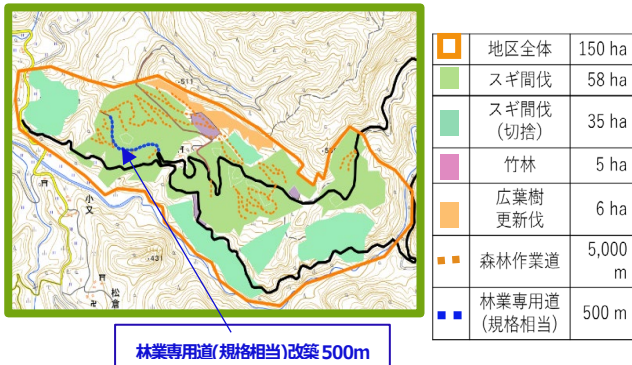
地区全体での大規模集約化を「普通」のこととして波及させるため、新たに立山町長倉地区において、森林編入した耕作跡地と周辺森林を一体とした集約化を検討した。

②取組み内容

- ・現地調査、取りまとめ
- ・長倉地区における整備の計画（素案）の作成と森林組合への提案・打合せ
- ・非農地証明手続きの支援
- ・地区代表者への説明・地元説明会の開催



耕作跡地に植栽されたスギ林状況



林業専用道(規格相当)改築 500m

長倉地区における整備の計画 (素案)

(ウ) 他地域への波及の取組み (富山森林組合)

①波及地区の設定

急峻な地形が多く、かつ、小型車の通行を想定した作業道が開設されており、作業効率が悪くなる傾向にある。このことから、林業専用道 (規格相当) への改築を核とした集約化モデル団地の設定を検討した。

②取組み内容

- ・現地調査 11 箇所、結果取りまとめ
- ・富山森林組合と打合せ、第一候補地を選定 (富山市細入片掛地区)
- ・森林整備計画 (素案) の作成と内容の協議
- ・富山市との役割分担 (意向調査の実施)



既設作業道の木製土留工腐朽状況

(2) 成果

小原地区での大規模な集約化による効率的な整備のための全体計画の作成を実施したことにより、地元住民との良好な関係性が構築されたほか、他地域でも大規模集約化が進行している。

また、林業専用道 (規格相当) が大規模集約化により着工されるなど、効率的な施業に向けた取組み

が着実に進んでいる。



林業専用道(規格相当)改築 990m

林業専用道(規格相当)865m

片掛地区における整備の計画 (素案)

(3) 今後の課題

①林業専用道 (規格相当) の設計及び監督支援

両森林組合では、林業専用道 (規格相当) の設計や工事監督業務を実施したことがないことから、林業普及指導員による手厚い技術指導が必要となる。

②市との連携

富山森林組合が計画している片掛地区では、森林経営管理制度に基づく意向調査を市に実施してもらうことで、地区のニーズを把握できることから、市との連携を密にしていく必要がある。

3 今後取組むべき内容

(ア) 大規模施業団地の普遍化

今回モデル団地として設定した小原地区では、令和2年度より普及指導員が精力的に森林組合を支援してきたことにより、施業団地が設定されたが、今後は森林組合が自力で大規模施業団地を開拓していくことが必須となる。そのためにも、今後も波及地区への取組みを支援していく必要がある。

(イ) 普及指導員の技術力向上

林業専用道 (規格相当) は通常の森林作業道とは異なり、第2種自動車道2級相当の規格となることから、指導する普及指導員にも林道技術の知見が求められる。そのためにも、公共事業等の研修会等にも積極的に参加し、技術力向上を図っていく。